

平成 29 年 6 月 26 日

平成 29 年度・島根大学教職大学院・夏期/地域教育課題支援事業

## 災害 × まち × 教育 ——学校の役割を考える——

### 【日時・場所等】

日時：平成 29 年 8 月 4 日（金）13:00～16:00

場所：倉吉市上灘公民館

### 【企画趣旨】

東日本大震災、熊本地震、そして鳥取県中部地震。近年、日本では甚大な災害が次々に生じています。そのとき、教師は子どものいのちをどう守ることができるのでしょうか、学校は地域コミュニティにおいてどのような役割を果たすことができるのでしょうか。平成 29 年度の島根大学教職大学院・授業「社会変化と学校役割」では、そのうちの一つのテーマを「災害」とし、この観点から学校/教師のあり方を再考しています。本企画は、その最終まとめに位置付くものです。鳥取県中部地区ご出身で、本年『災害と厄災を伝える：教育学は何ができるのか』をご出版されたばかりの京都大学・山名淳先生を講演講師に迎え、まさに震災復興の直中にある倉吉の地で「災害と教育」について考えたいと思っております。

### 【タイムスケジュール】

13:00～13:10 開会行事

13:15～13:40 （第一部） 教育学部生による学習成果発表  
ポスター発表「地震災害と地域社会」

13:45～14:40 （第二部） 教職大学院生による学習成果発表  
ワークショップ「災害に強い学校づくり——被災経験の記憶と伝承——」  
対話型教員研修手法の提案（ケースメソッド形式）

14:40～14:50 休憩

14:50～15:50 （第三部） 講演「災害×まち×教育 ——学校の役割を考える——（仮）」（京都大学 山名淳 先生）

15:50～16:00 閉会行事

部分的な参加も可能です！  
若手、ミドル、管理職の先生方まで、  
多様なご参加をお待ちしています！

小・中・高の学校種に分かれて  
ワークショップを行います。

### 【講演】

演題 「災害×まち×教育 ——学校の役割を考える——（仮）」

講師：山名淳 氏 京都大学大学院教育学研究科 准教授

1963 年生まれ。専門は教育哲学、教育思想。鳥取県湯梨浜町出身。鳥取県立倉吉東高等学校卒業。広島大学大学院教育学研究科単位取得退学、博士（教育学）。主著『災害と厄災の記憶を伝える：教育学は何ができるのか』（勁草書房、2017 年（共編））、『都市とアーキテクチャの教育思想』（勁草書房、2015 年（単著））。その他業績多数。

### 【後援】

鳥取県教育委員会・倉吉市教育委員会

### 【参加申込み】

- ・第二部「ワークショップ」に参加の方は、7 月 26 日（水）までに「本件に関するお問い合わせ先」（教職大学院・丸橋）まで、メールにてお申し込み下さい。
- ・メール件名は「倉吉ワークショップ申込み」とし、「ご氏名」、「ご所属」、「ご連絡先」をお知らせ下さい。
- ・第一部、第三部には、申込みなしでご参加できます。

<本件に関するお問い合わせ先>  
島根大学教職大学院  
丸橋静香  
E-mail: inoues@edu.shimane-u.ac.jp  
Tel/fax: 0852-32-6369（直通）